



AuditPlus

インストールガイド

2017 年 2 月更新



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2017 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次



はじめに	4
ご利用局面ごとの手順概要	5
AuditPlus の新規利用	6
システム要件の確認	6
AuditPlus のインストール	6
新規ライセンス請求	6
新規ライセンスの入力	7
ライセンスの継続	8
継続ライセンスの請求	8
継続ライセンスの入力	10
アプリケーションのアップグレード	11
システム要件の確認	11
AuditPlus のアップグレード	11
マシン間のライセンスの移行	12
【トラブルシューティング】ライセンスの再発行	13
エビデンスの準備	13
再発行ライセンスの請求	13
再発行ライセンスの入力	14
手順詳細	15
AuditPlus のインストール／アンインストール	16
GeneXus Protection Server／License Manager の最新化	21
Dvelop.ProtectionServer のインストール	22
Dvelop.ProtectionServer のインストール	22
Protection Server の再起動	23
ライセンス請求	24
ライセンスの入力	27
ライセンスの移行手順	30
ターゲットマシンで登録用ファイルを作成	30
ソースマシンからライセンスの書き出し	32
ターゲットマシンでライセンスを読み込む	34
ライセンスのアンインストール	36



はじめに

本書は、AuditPlus をご利用いただくためのガイドブックです。

AuditPlus ライセンスの考え方

AuditPlus は、開発するアプリケーションに一度適用すればよく、開発途上でたびたび操作する性質のものではないというソフトウェア特性から、プロテクションサーバーに 1 ライセンスをおき、複数の開発プロジェクトで共有してご利用いただくという考え方をとっています。サーバー単位のライセンスですから、ロケーション、ネットワークセグメントの違いなどで、複数のプロテクションサーバーを立てる必要がある場合には、プロテクションサーバーの数だけライセンスをご購入ください。

開発者が AuditPlus 関連操作を行うと、ライセンスは 5 分間その開発者が占有します。他の開発者が AuditPlus 関連操作を行うには約 5 分間待つ必要があります。

AuditPlus を適用したアプリケーションの開発者は、AuditPlus 関連操作を行わない限り AuditPlus のライセンスは必要ありませんが、マシンに AuditPlus がインストールされている必要があります。

同様に、AuditPlus を適用したアプリケーションを管理する GeneXus Server にも、AuditPlus がインストールされている必要があります。手順は「[AuditPlus の新規利用—AuditPlus のインストール](#)」(P6)を参照してください。プロテクションサーバーを利用せず、1 台のローカルマシンだけで AuditPlus 関連操作を行うことも可能です。

プロテクションサーバーご利用の前提条件

GeneXus がインストールされているマシンに AuditPlus をインストールすると、GeneXus のライセンスマネージャーに AuditPlus が表示されるようになりますが、ライセンス管理専用プロテクションサーバー¹を立てている場合には、AuditPlus²のような Dvelop 社製品が初期表示されていません。その場合は、プロテクションサーバーに

「Dvelop.ProtectionServer」を追加でインストールする必要があります。手順は「[Dvelop.ProtectionServer のインストール](#)」(P22)を参照してください。

¹ プロテクションサーバーは、GeneXus のライセンスマネージャーに、複数開発者によるライセンス利用の機能が追加されたアプリケーションで、弊社ホームページ (<http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja>) からダウンロードして無料でご利用いただけます。サーバーマシンにインストールしていただくだけで、GeneXus 関連製品のライセンス管理が行えます。

² AuditPlus に限らず GeneXus 関連製品のライセンスの転売は禁止されています。他社への変更／譲渡はできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。



ご利用局面ごとの手順概要



AuditPlus の新規利用

このセクションでは、AuditPlus を新規にご利用される場合の手順について説明します。

システム要件の確認

AuditPlus (2.1.6) は、以下のバージョンの GeneXus でご利用いただけます。

- GeneXus X Evolution 2 U4 以降、GeneXus X Evolution 3 U3 以降

WorkWithPlus を適用する場合は以下のバージョンが対応しています。

- WorkWithPlus 7.2 以降

AuditPlus のインストール

AuditPlus を適用するアプリケーション開発者のマシンおよび GeneXus Server に AuditPlus をインストールします。
手順詳細「[AuditPlus のインストール／アンインストール](#)」(P16)にしたがってインストールしてください。

新規ライセンス請求

ライセンスは、製品ごとに個別に請求ファイルを作成して請求します。AuditPlus 以外の製品も同時に行う場合は、各製品のインストールガイドを参照して請求ファイルを作成してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。



注意：操作は GeneXus Protection Server／Lisence Manager を使って行います。GeneXus Protection Server／Lisence Manager は、トラブル未然防止の観点から、常に最新のバージョンをご利用ください。手順詳細「[GeneXus Protection Server／License ManagerProtect.dll の最新化](#)」(P21)にしたがって、バージョンを確認し、最新のバージョンでない場合は、最新化してください。

注意：プロテクションサーバーを単独で立てている場合は、AuditPlus のライセンスが初期表示されません。その場合は手順詳細「[Dvelop.ProtectionServer のインストール](#)」(P22)にしたがって Dvelop.ProtectionServer をインストールしてください。

1. 手順詳細「[ライセンス請求](#)」(P24)にしたがって「.gxa」ファイルを作成します。
2. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。

重要：GeneXus パートナーから AuditPlus を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。

新規ライセンスの入力

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にする方法については、手順詳細「[ライセンスの入力](#)」(P27)を参照してください。



ライセンスの継続

このセクションでは、AuditPlus のライセンスを継続する際の手順を説明します。

継続ライセンスの請求

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。

ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

重要：ライセンスを請求するときと、ライセンスキーを入力するときの「状態」は同じである必要があります。有効日数が残っている「承認済み」の状態ではライセンスキー取り込めるように、余裕をもって有効日数が5営業日以上ある時点で請求を行ってください。

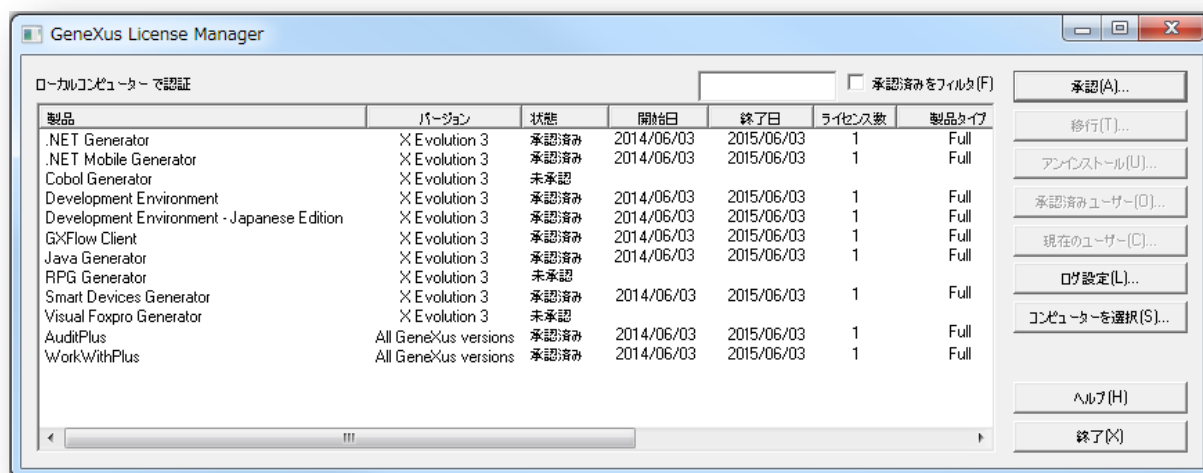
やむを得ず有効日数が「1日」になってしまった場合は、ライセンス入力時点で「状態」が「期限切れ」に変わってしまえばライセンスキーが取り込めなくなってしまうので、その場合は、ライセンスをアンインストールしてからライセンス請求してください。

アンインストールの手順は、手順詳細「ライセンスのアンインストール」にしたがってください。



次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. 「GeneXus Protection Server/License Manager」の起動時の画面のスクリーンショットを撮り、保存します。
スクリーンショットには「製品」、「バージョン」、「状態」、「開始日」、「終了日」、「ライセンス数」、および「有効期限」の「残存日数」の内容が表示されている必要があります。



2. 手順詳細「[ライセンス請求](#)」(P24)にしたがって「.gxa」ファイルを作成します。
3. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を GeneXus パートナーまたは keystmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 手順2で作成した「.gxa」ファイル
 - 注文書に記載されているライセンス番号

以上で継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のメールを送信したメールアドレスに送信されます。



継続ライセンスの入力

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にする方法については、手順詳細「[ライセンスの入力](#)」(P27)を参照してください。

重要：ライセンスの発行は、DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。



アプリケーションのアップグレード

このセクションでは、既にインストールされている AuditPlus を最新版にアップグレードする方法について説明します。

システム要件の確認

関連するアプリケーションのバージョン情報を確認します。

AuditPlus のアップグレード

1. 手順詳細「[AuditPlus のインストール／アンインストール](#)」（P16）にしたがってアップグレード行います。



マシン間のライセンスの移行

このセクションでは、AuditPlus のライセンスを、別のマシンに移行する方法について説明します。

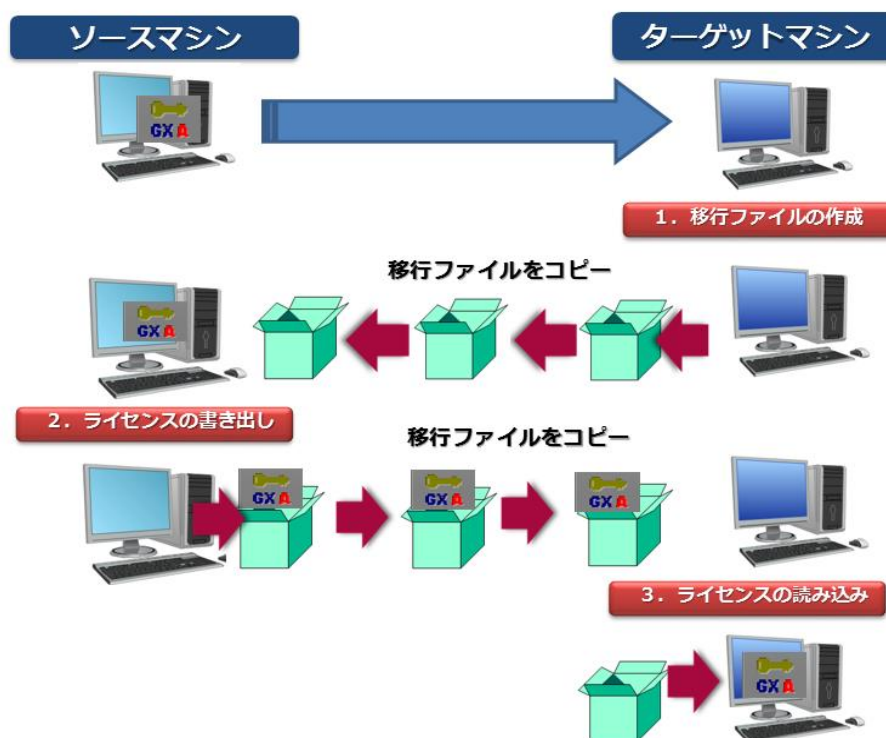
注意： 操作は GeneXus Protection Server / License Manager を使って行います。GeneXus Protection Server / License Manager のバージョンを確認し、最新のバージョンでない場合は、トラブル未然防止の観点から手順詳細「[GeneXus Protection Server / License Manager の最新化](#)」(P21)にしたがってご利用されるマシンの GeneXus Protection Server / License Manager を最新にしてください。

概要は以下のとおりです。

現在 AuditPlus ライセンスが入っているマシンを「**ソースマシン**」と呼び、ライセンスの移行先のマシンを「**ターゲットマシン**」と呼びます。

1. ターゲットマシンでライセンスファイル登録用ファイル「**移行ファイル**」を作成してソースマシンにコピーします。
2. ソースマシンで、「**移行ファイル**」にライセンスを書きだしてターゲットマシンにコピーします。
3. ターゲットマシンでライセンスを読み込みます。

具体的な操作方法は手順詳細「[ライセンスの移行手順](#)」(P30) にしたがって行ってください。





【トラブルシューティング】ライセンスの再発行

このセクションでは、何らかの理由でライセンスが停止中となったり、AuditPlus をインストールしているマシンが故障したりして、AuditPlus が使用できなくなった場合、ライセンスを再発行する手順について説明します。

エビデンスの準備

- A) 「GeneXus Protection Server/License Manager」の起動画面のスクリーンショット
- B) 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル

※マシンの故障等でエビデンスを作成できない場合は、「ライセンス再発行依頼書」の提出後にライセンスの再請求を行っていただきます。

1. 弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求
2. 必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社まで郵送してください。
3. 再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、新しいマシンから手順詳細「[ライセンス請求](#)」(P24)にしたがって、ライセンスの請求手続きを行ってください。

再発行ライセンスの請求

ライセンス再請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンスの再発行は、お客様の業務の状況に応じて、以下の2つの方法から選択してください。

- A) ライセンスの再請求を行う。

「ライセンスの再請求」では、最速でもライセンスキーの受け取りが翌日になってしまいます。

- B) 緊急ライセンスを請求する

「緊急ライセンス」は、ライセンス再請求を行った当日ライセンスキーを受け取ることができますが、有効期間が15日間なので、15日以内に、もう一度ライセンスの再申請を行う必要があります。

1. 手順詳細「[ライセンス請求](#)」(P24)にしたがって、「.gxa」ファイルを作成します。



2. GeneXusをお買い求めのGeneXusパートナーまたは弊社(keysmaster@genexus.jp)まで、以下のメールでご依頼ください。

➤ **送信するメールの件名：**AuditPlus ライセンス再発行依頼／AuditPlus 緊急ライセンス発行依頼

注意：選択しない方を削除してください。

➤ **メールの本文：**

- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号（6桁の数字）
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 再発行理由

参考：ライセンスが停止中になる主な原因

＜禁止事項の実施＞

- ・ GeneXus および AuditPlus がインストールされている端末のシステム日付の変更
- ・ レジストリー情報の修正を行う。

＜不可避事項＞

- ・ OS のアップデートによるシステムの変更
- ・ OS の不具合
- ・ GeneXus Protection Server／License Manager のバグ

再発行ライセンスの入力

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にする方法については、手順詳細「[ライセンスの入力](#)」(P27)を参照してください。



手順詳細



AuditPlus のインストール／アンインストール

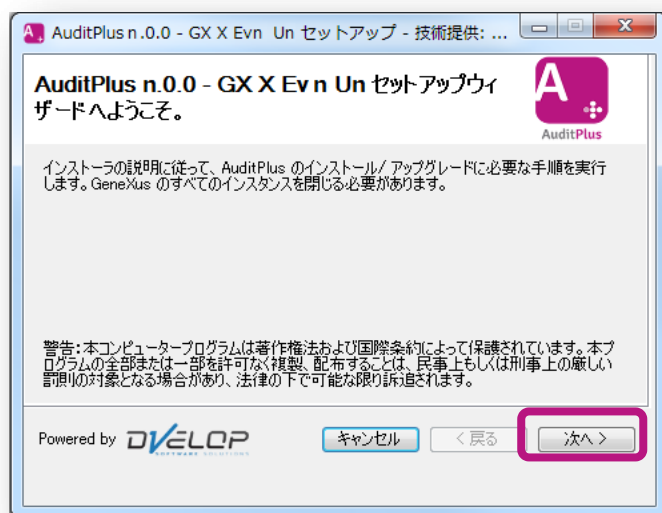
このセクションでは、AuditPlus のインストール／アンインストールについて説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから AuditPlus のアプリケーションをダウンロードします。アンインストールの場合は、ダウンロード済みのインストーラーを起動してください

<http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja>

注意： AuditPlus には GeneXus X Evolution 2 用と GeneXus X Evolution 3 用のインストーラーが用意されています。お使いの GeneXus のバージョンに応じて適切なインストーラーを使用してください。

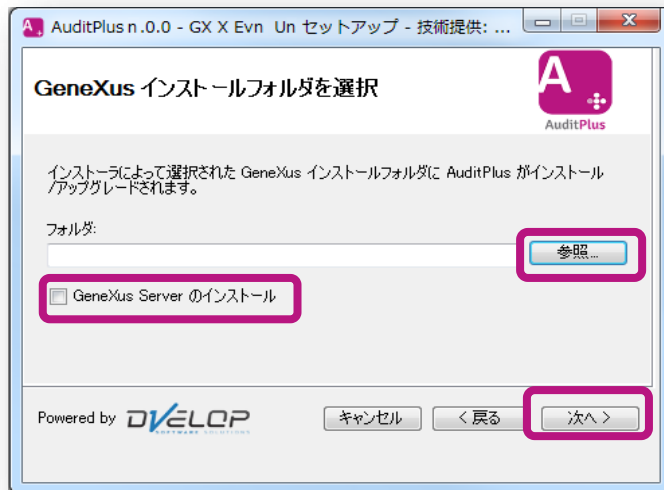
2. 「AuditPlusSetup_vn.n_Evn_Un.zip」を解凍して「AuditPlusSetup_vn.n_Evn_Un.exe」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。



3. 「次へ」をクリックします。



次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



4. 「参照」をクリックして、次のようにインストールの場所を指定します:

「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvN_JP」

※複数の GeneXus のインストールフォルダに AuditPlus をインストールしている場合には、都度「参照」をクリックして、アップグレードする AuditPlus のインストール場所を指定します。

5. GeneXus Server へのインストール

- ☒ GeneXus Server のインストール : GeneXus Server へインストールする場合
- ☐ GeneXus Server のインストール : GeneXus へインストールする場合

6. 「次へ」をクリックします



<新規インストールの場合>

7. 次のようなインストール完了画面が表示されます。「完了」をクリックします。



これでインストールは完了です。「GeneXus License Manager を開く」オプションが選択されている場合（既定）、ライセンスを請求するための「GeneXus License Manager」が開きます。



<アップグレードの場合>

7. AuditPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。1 番目の AuditPlus をアップグレードするオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



8. 次のようなインストール完了画面が表示されます。「完了」をクリックします。



これでアップグレードは完了です。

参考：正しくアップグレードされていることを確認するには、GeneXus を起動し、GeneXus の「ツール」メニューから「AuditPlus」>「ヘルプ」>「AuditPlus について」と選択してから、表示されるバージョン情報を参照してください。

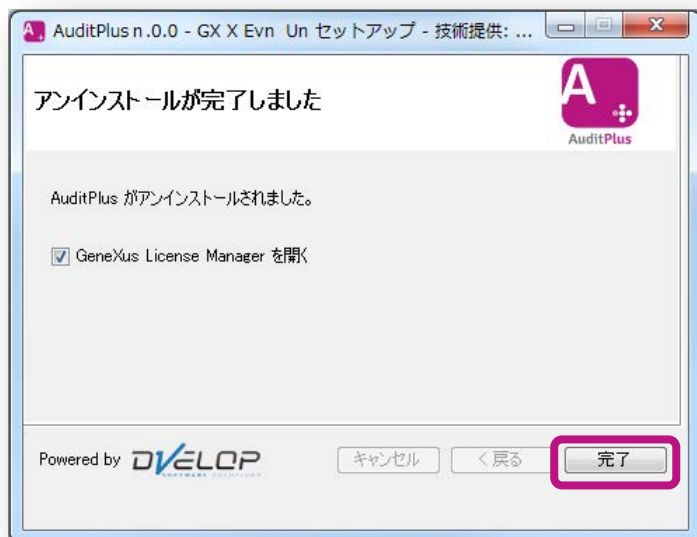


<アンインストールの場合>

AuditPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。



7. 2 番目の「**AuditPlus のアンインストール**」オプションを選択し、「**次へ**」をクリックします。
8. アンインストールの確認を求めるウィンドウが表示されたら「**はい**」をクリックします。
9. 次のようなアンインストール完了画面が表示されます。「**完了**」をクリックします。



これで AuditPlus アプリケーションのアンインストールは完了です。



GeneXus Protection Server/License Manager の最新化

ライセンス関連の処理をされる前に、トラブル予防の観点から、関連するすべてのマシンの GeneXus Protection Server/License Manager のバージョンを最新化します。GeneXus Protection Server/License Manager のバージョンを最新化することは、以下のフォルダの「Protect.dll」というファイルを最新のバージョンにさせていただくことです。

64bit マシンの場合：

C:\Program Files (x86)\Common Files\Artech\GXProt1

32bit マシンの場合：

C:\Program Files\Common Files\Artech\GXProt1

1. ご利用のマシンの Protection Server/License Manager のバージョンが最新かどうか確認します。

Protect.dll の最新バージョンの確認方法

<http://wiki.genexus.com/commwiki/servlet/wiki?18887,Genexus+Protection+Server,>

マシン内の Protect.dll のバージョン確認方法

「Protect.dll」を右クリック→「プロパティ」→「詳細」タブ内の「ファイルバージョン」

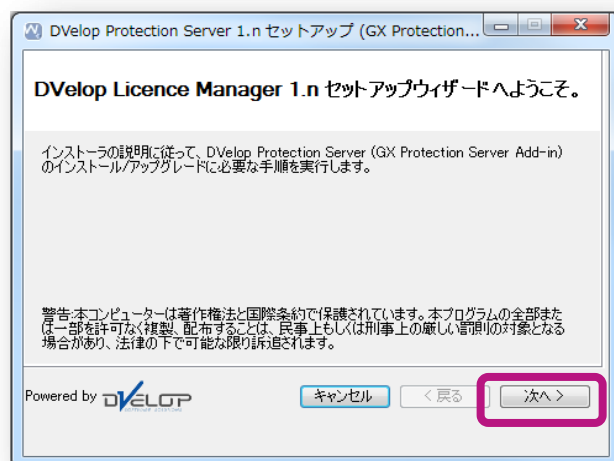
2. 最新でない場合、最新バージョンの GeneXus IDE、もしくは最新のバージョンの Protection server を弊社ホームページ <http://www.genexus.com/downloads/products-jp?ja> からダウンロードしてインストールします。
3. インストールすると「Protect.dll」が更新されます。ライセンス関連の操作をする全てのマシンにコピー、上書きしてください。



Dvelop.ProtectionServer のインストール

Dvelop.ProtectionServer のインストール

1. Protection Server がインストールされているマシンに「**Dvelop.ProtectionServer_1.n**」をコピーします。



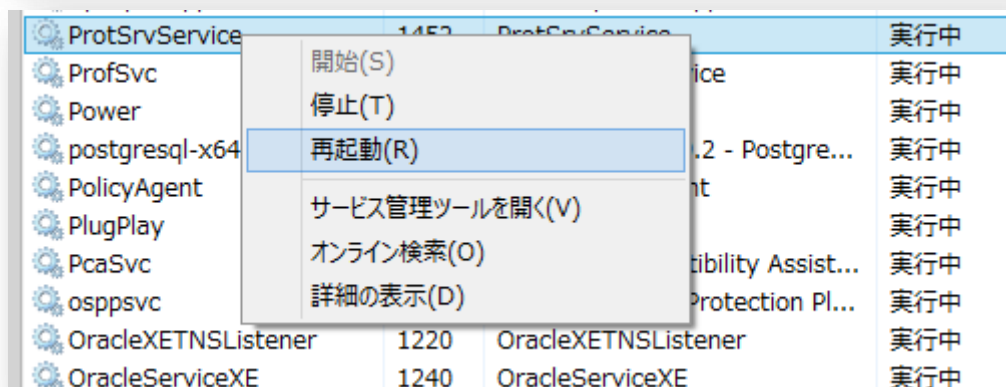
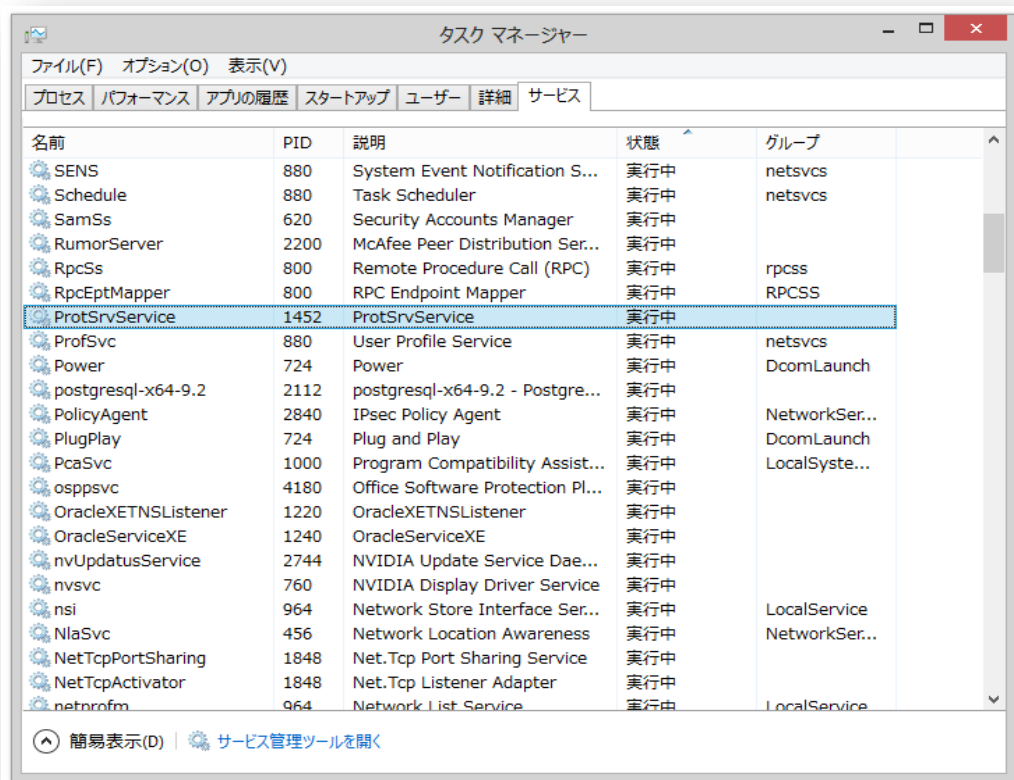
2. 「**Dvelop.ProtectionServer_1.exe**」をダブルクリックします。次のような画面が表示されます。
3. 「**次へ**」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。
4. 「**完了**」をクリックすると、GeneXus Protection Server が起動します。



5. この段階では、AuditPlus が初期表示されません。
GeneXus Protection Server を閉じて、再起動を行います。

Protection Server の再起動

1. 「タスクマネージャー」を起動し、「サービス」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。
「ProtSrvService」を右クリックし、コンテキストメニューから「再起動」をクリックします。

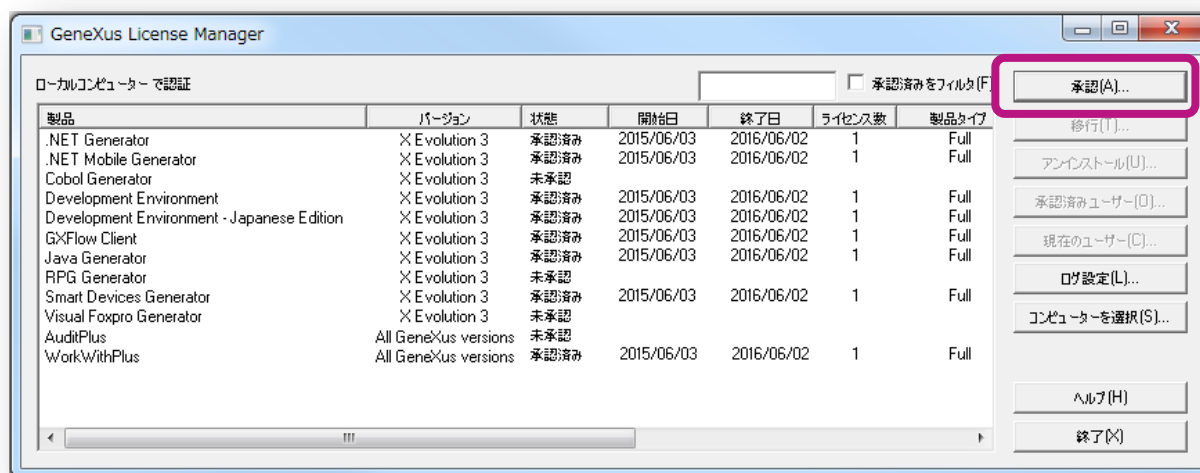


2. GeneXus Protection Server の「製品」に「AuditPlus」が表示されていることを確認します。

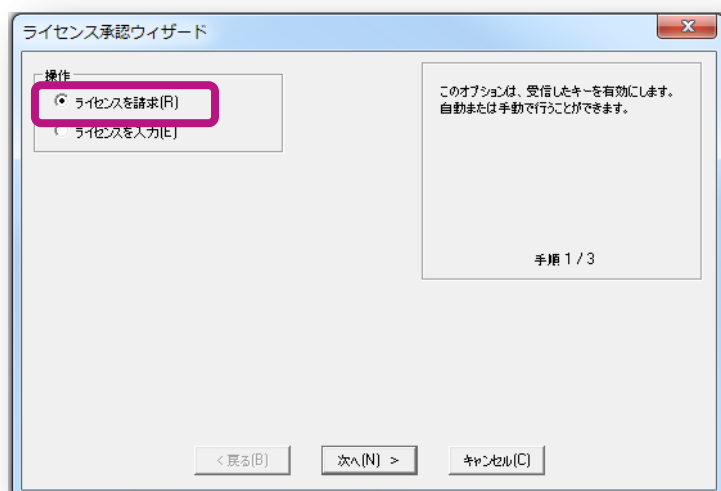
ライセンス請求

1. 「GeneXus License Manager」を起動します。また、GeneXus のプログラムグループから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動することもできます (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「GeneXus License Manager」のショートカットを右クリックして「管理者として実行」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



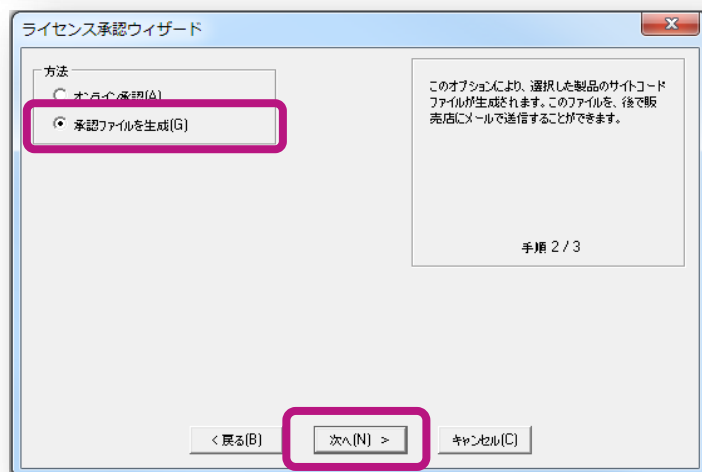
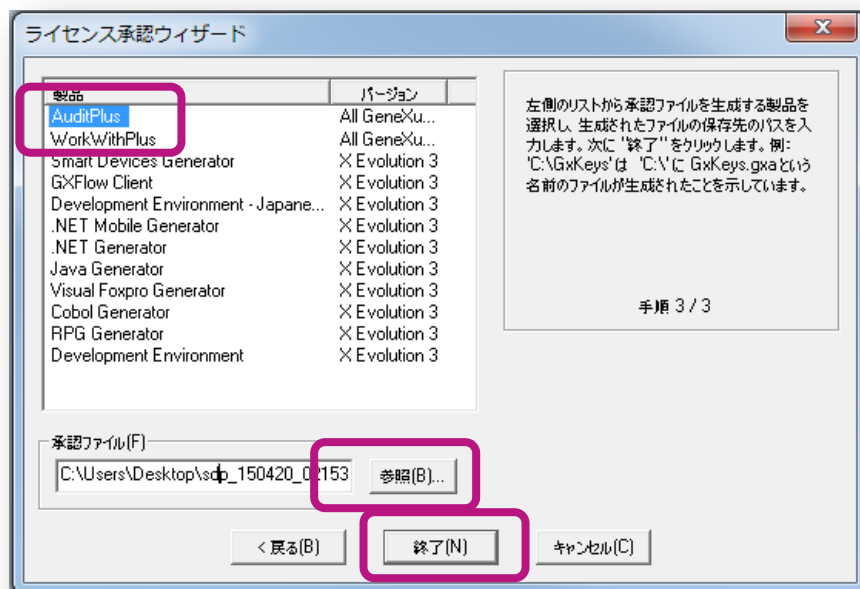
2. 「承認」ボタンをクリックします。ライセンスの請求または入力オプションが表示されます。



3. 「ライセンスを請求」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。



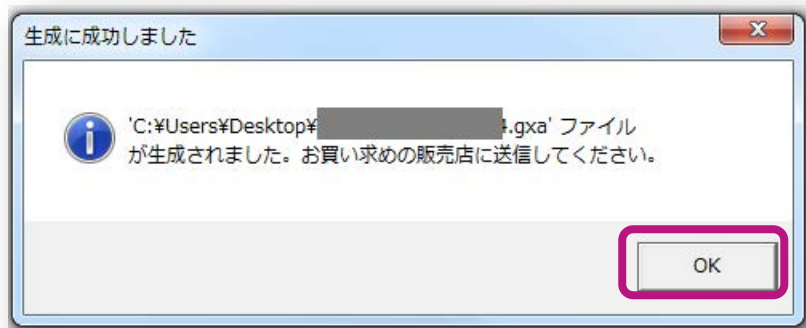
4. 「承認ファイルを生成」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。
ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。
5. 「製品」リストから「AuditPlus」を選択してから、「終了」ボタンをクリックします。



6. 「.gxa」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「参照」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。このときファイル名を次のように指定してください。
「AP_XXXX.gxa」：「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力してください。



「.gxa」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「OK」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「.gxa」



ファイルが保存されます。これで AuditPlus のライセンス請求は完了です。



ライセンスの入力

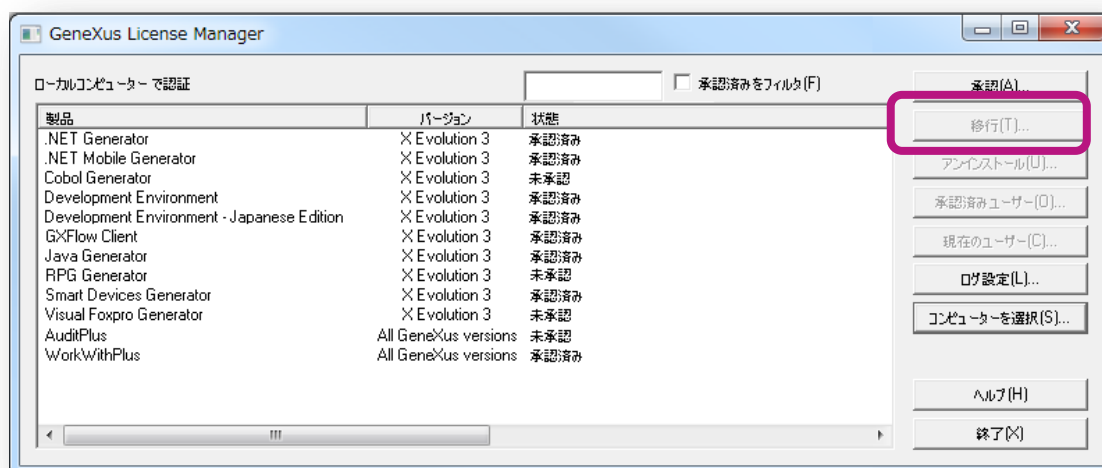
ライセンス請求の後、発行されたライセンスキーは、送信したメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したマシンに取り込むことでライセンスを有効化することができます。

ここでは、ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

注意： AuditPlus のライセンスの継続の場合には注意が必要です。ライセンスを利用できない期間が発生しないように、有効日数が残っている「承認済み」の「状態」でライセンス請求を行い、「承認済み」の「状態」入力をお願いしています。GeneXus の場合はそのままライセンス入力が可能ですが、AuditPlus の場合は、ライセンスの入力直前に、古いライセンスをアンインストールする必要があります。ライセンスのアンインストール方法については、後述の「[ライセンスのアンインストール](#)」(P35) を参照してください。

1. メールに添付されたライセンスファイル (.gxa ファイル) を、ライセンスを請求したマシンにコピーします。
2. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus Protection Server/License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus Protection Server/License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus Protection Server/License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

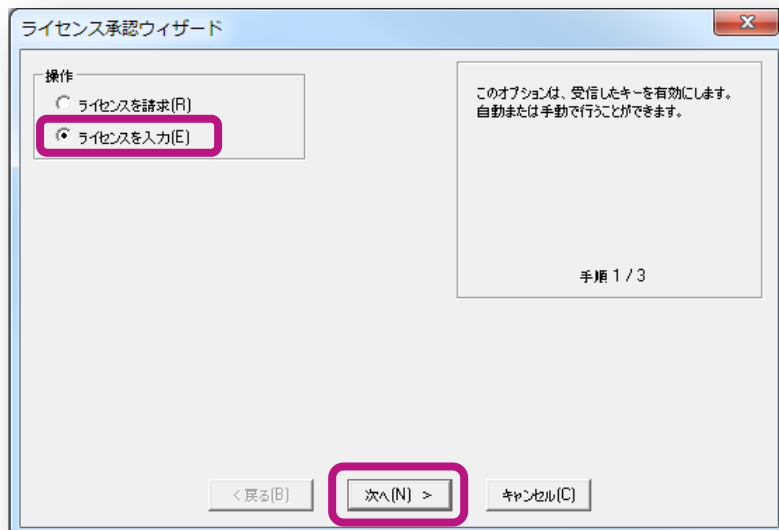


この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます

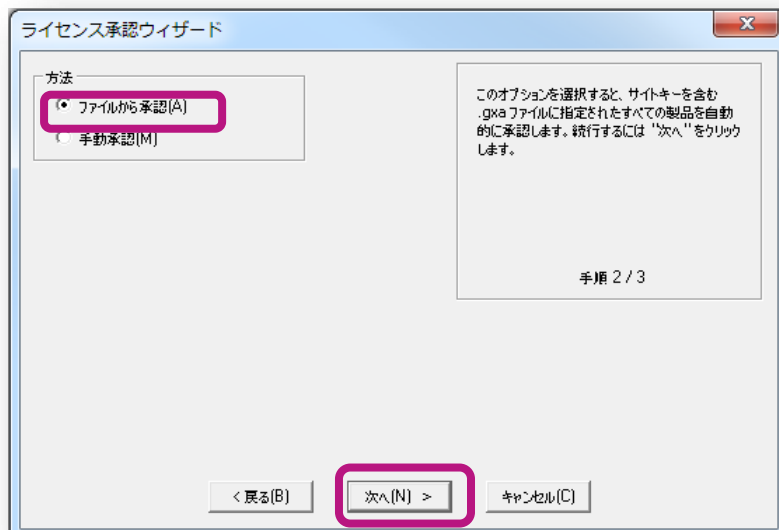


3. 「承認」 ボタンをクリックします。

次のような処理選択画面が表示されます。

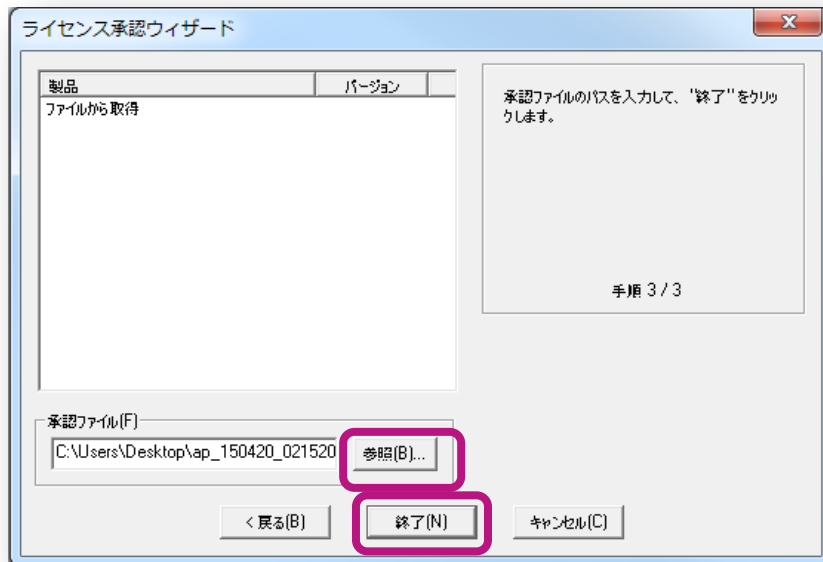


4. 「ライセンスを入力」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「ファイルから承認」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。





次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



6. 「参照」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「終了」ボタンをクリックします。
これでライセンスの入力は完了です。



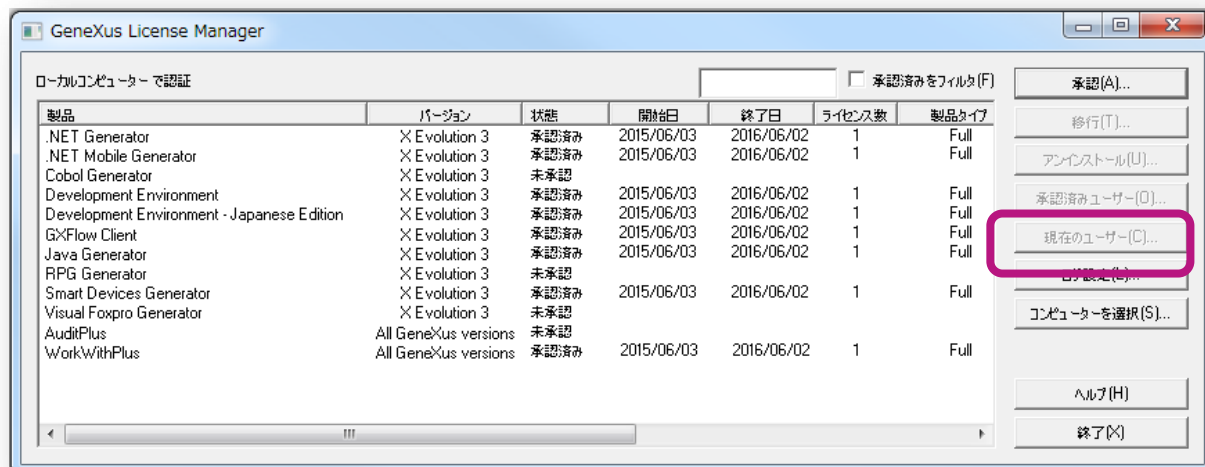
ライセンスの移行手順

ここでは、AuditPlus のライセンスを別のマシンに移行する方法について説明します。この場合、はじめに 1. ライセンスの移行先のマシン（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（移行ファイルの作成）し、次に 2. ライセンスがインストールされているマシン（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（ライセンス書き出し）、最後に 3. ターゲットマシンでライセンスを読み込む（ライセンス取り込み）操作を実行する必要があります。

ターゲットマシンで登録用ファイルを作成

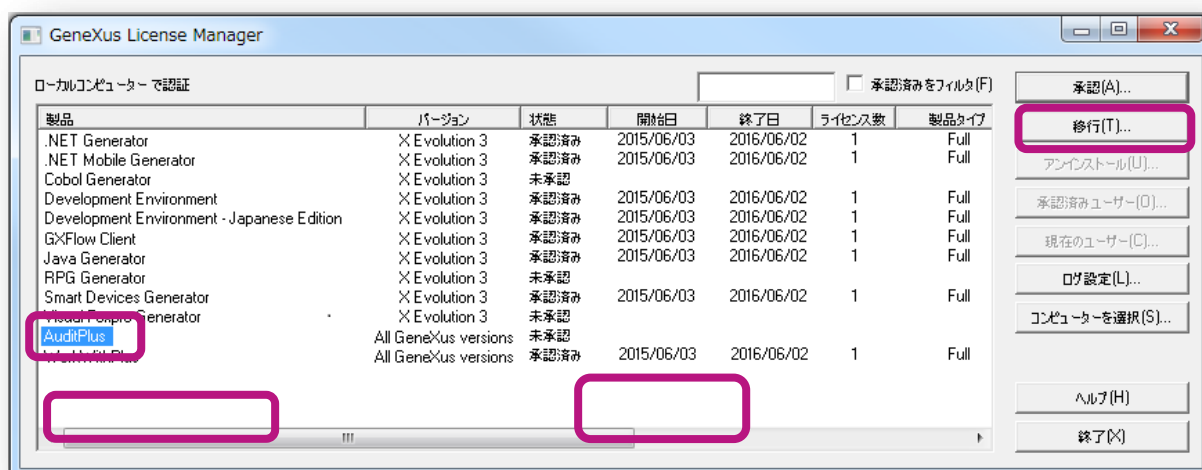
1. ターゲットマシンの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus Protection Server/License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus Protection Server/License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus Protection Server/License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



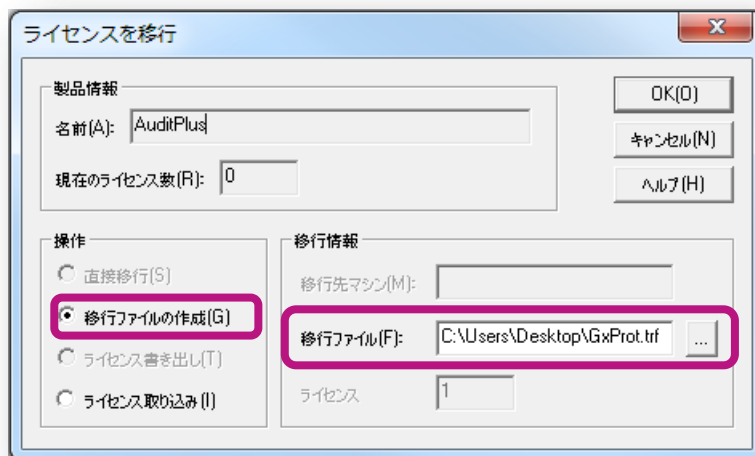


2. 「コンピューターを選択」をクリックします。「コンピューターを選択」ウィンドウが表示されます
3. 「ローカルライセンス」のオプションが選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします
「GeneXus Protection Server/License Manager」の起動画面に戻ります。
4. 「製品」から「AuditPlus」を選択し、「移行」ボタンをクリックします。



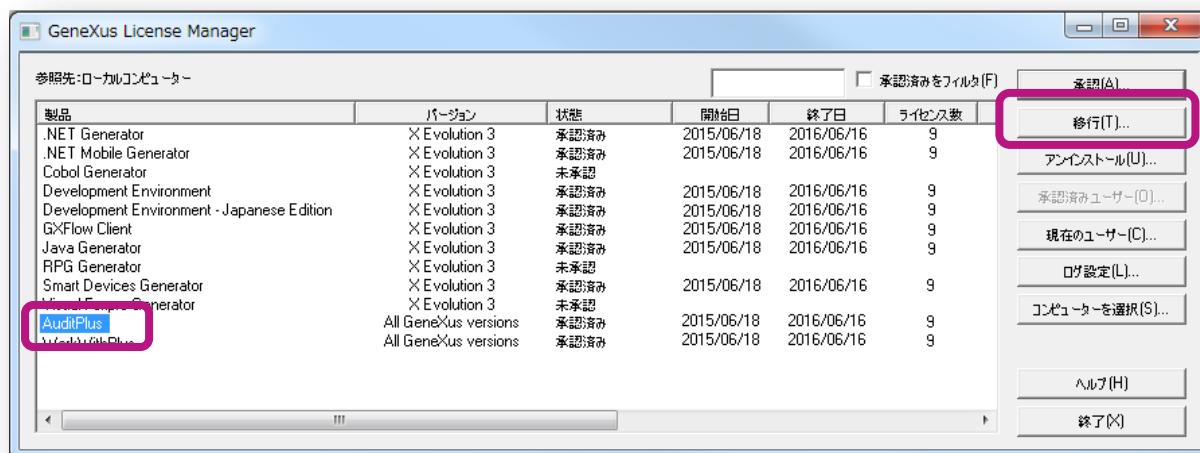
5. 「ライセンスを移行」画面が表示されたら、「操作」セクションの「移行ファイルの作成」を選択し、「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。参考：
「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。





ソースマシンからライセンスの書き出し

1. ソースマシンから「GeneXus Protection Server/License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



2. 「製品」から「AuditPlus」を選択し、「移行」ボタンをクリックします。



3. 「操作」セクションの「ライセンス書き出し」を選択し、「ライセンス」フィールドに必要な数を入力してから、「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 5 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。

A screenshot of a Windows-style dialog box titled 'ライセンスを移行' (Transfer License). The dialog is divided into several sections. At the top left, under '製品情報' (Product Information), there is a text field for '名前(A):' containing 'AuditPlus' and a numeric field for '現在のライセンス数(R):' containing '1'. To the right of these fields are three buttons: 'OK(O)', 'キャンセル(N)', and 'ヘルプ(H)'. Below the product information, there is a '操作' (Operation) section with four radio buttons: '直接移行(S)', '移行ファイルの作成(G)', 'ライセンス書き出し(T)' (which is selected), and 'ライセンス取り込み(I)'. To the right of the operation section is a '移行情報' (Transfer Information) section. It contains a text field for '移行先マシン(M):', a text field for '移行ファイル(F):' containing 'C:\Users\Desktop\GxProt.trf' with a browse button (...), and a numeric field for 'ライセンス' containing '1'. Red rectangular boxes highlight the 'OK(O)' button, the 'ライセンス書き出し(T)' radio button, the '移行ファイル(F):' field, and the 'ライセンス' numeric field.

この後ターゲットマシンに戻って操作を行います。

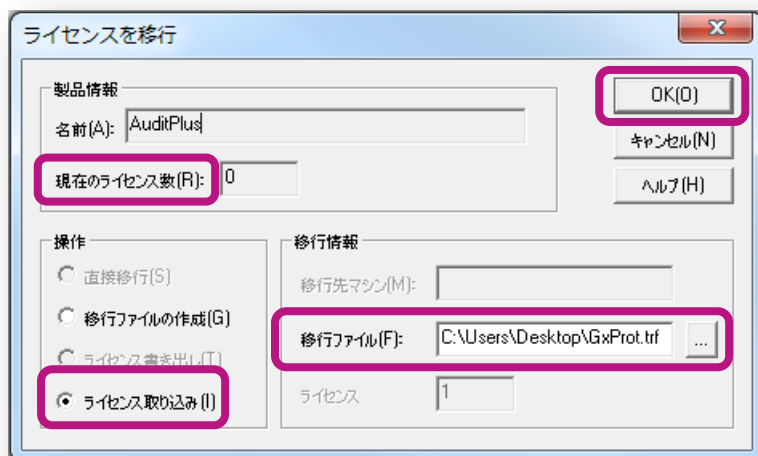


ターゲットマシンでライセンスを読み込む

1. ターゲットマシンから「GeneXus Protection Server/License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



2. 「製品」から「AuditPlus」を選択し、「移行」ボタンをクリックします。
3. 「操作」セクションの「ライセンス取り込み」を選択し、「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。





これでライセンスの移行は完了です。

重要：ターゲットマシンで移行 (.trf) ファイルを作成後、ソースマシンでライセンスを取り込む前に再度移行ファイルを作成しようとすると、警告画面が表示されます。同じ製品区分に対して、「移行ファイルの作成」を複数回実行した場合、最後に作成したファイルが正になります。最後に作成された移行ファイル以外の移行ファイルを使って、ソースマシンで「ライセンス書き出し」処理が実行された場合、書き出されたライセンスは行き場を失い、消失してしまいます。誤ってライセンスを消失してしまった場合については、後述の「[ライセンスの再発行](#)」(P13)を参照してください。

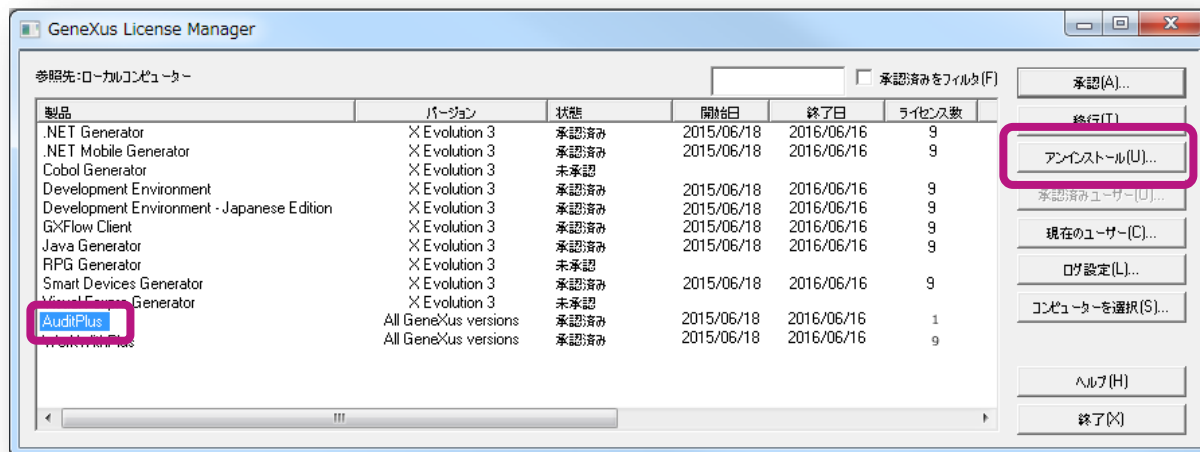


ライセンスのアンインストール

ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus Protection Server/License Manager**」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus Protection Server/License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

¹
⁹ 「GeneXus Protection Server/License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**アンインストール**」ボタンをクリックします。

次のような「**ライセンスをアンインストール**」画面が表示されます。

3. 「**ライセンスをアンインストールするライセンス数**」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「**OK**」をクリックします。これでライセンスのアンインストールは完了です。

